第１回循環資源利用促進税事業検証懇話会開催概要

１　開催日時
平成 27 年 12 月 16 日（水）　14 時 00 分から 15 時 30 分まで

２　開催場所
北海道立道民活動センター（かでる２・７）　920 会議室
（札幌市中央区北２条西７丁目）

３　出席者
（１）懇話会委員（敬称略、５０音順）

所　属	職	氏　名	出 欠
北海道農業協同組合中央会	農業振興部長 （農業企画課長）	浅野　正昭 （竹村　秀和）	代理出席
北海道大学大学院工学研究院	准教授	石井　一英	出席
北海道漁業協同組合連合会	環境部長	井下　泰浩	欠席
北海道経済連合会	理事 事務局長	菅原　光宏	出席
地方独立行政法人　北海道立総合研究機構	環境エネルギー部長	髙橋　徹	出席
公益社団法人　北海道産業廃棄物協会	副会長	寺嶋　忠雄	出席
北海道中小企業団体中央会	連携支援部副部長	馬込　毅	出席
一般社団法人　北海道食品産業協議会	専務理事	矢倉　武志	出席

（２）事務局

所　属	職	氏　名
北海道環境生活部	環境局長	築地原　康志
〃　　環境局循環型社会推進課	課　長	大林　純一
〃	主　幹	木村　尚司
〃	主　査	寒河江　正
〃	主　任	伊藤　知洋

４　開催概要

（１）開会

〇築地原環境局長より挨拶

〇委員紹介

〇開催要領第３条第２項に基づき、石井委員を座長に選任

〇石井座長より挨拶

【挨拶要旨】

・循環税制度は、10 年前に北海道の循環型社会の形成を推進するために導入された

・循環税事業は、循環型社会を見据えた施策に寄与するために行われるが、循環税事業の対象となる循環資源とは、条例にあるとおり産業廃棄物を指している

・今回の循環税事業の検証にあたっては、循環型社会形成のために循環税事業があるべき姿を広く議論していただき、税の使い方やあり方について、懇話会として提案したいと思う

・各業界を代表して参加されている委員の皆様には、業界の事情を踏まえ様々なご意見をいただきたい

（２）循環資源利用促進税事業検証懇話会の進め方について

〇「第１回循環資源利用促進税事業検証懇話会資料」の資料３に基づき、事務局より概要を説明

〇平成 23 年の見直しは、条例に基づいて条例自体を見直し、さらに税の使い方、事業の進め方について検討を行い、税制度を継続して循環税事業の積極的な推進を図ることとした

〇この税事業検証懇話会は、平成 23 年の報告書の「５年を目途に循環税事業について検討を行いその結果に基づいて必要な措置を講ずる」を根拠に開催している

〇今回の検証は循環税事業について行い、必要に応じて税制度について検討する

（３）北海道循環資源利用促進税事業の概要について

〇「第１回循環資源利用促進税事業検証懇話会資料」の資料４、参考資料３に基づき、事務局より概要を説明

〇委員から次の事項について次回会議に提示するよう求めがあった

・税事業の取組状況について（参考資料３の 22 頁以降（参考資料７）と同様に）（石井座長）

・これまでに廃止された事業や、追加された事業について、その経緯や理由（石井座長、髙橋委員）

（４）北海道循環資源利用促進税事業に関するアンケート調査について

〇「第１回循環資源利用促進税事業検証懇話会資料」の資料５に基づき、事務局より概要を説明

〇委員から次の事項について次回会議に提示するよう求めがあった

・回答事業者区分ごとに集計した資料（石井座長、菅原委員）

（５）その他

〇循環税は目的税として導入しているので、目的（最終処分量の削減）が達成されれば税を廃止すべきとの考え方もできる（菅原委員）

〇最終目的は最終処分量の削減だが、３月に改訂した循環型社会形成推進基本計画の中でも、リサイクル量だけでなくリサイクルの質も重要としており、それまでの過程を促進させることが重要であると思う（石井座長）

〇委員から次の事項について次回会議に提示するよう求めがあった

・他府県の税収、税事業の概要（石井座長、馬込委員）

・業種別排出量、業種別の申請、採択件数（矢倉委員）

５　今後の予定

〇第２回は平成 28 年３月下旬を予定